

11 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1 女性の健康課題－更年期に関する支援について 女性の更年期症状による経済損失は年間 1.9 兆円(2024 年経産省)とされ、女性が活躍する現代では更年期への支援は重要な課題となっている。男性にも更年期はあるが、女性の場合は女性ホルモンが急激に減少することによる更年期症状があり、個人差はあるが生活に支障が出る更年期障害では生活の質が著しく低下することもある。また、発汗やめまいの他、やる気が出ない、疲れやすい、不眠による日中の眠気などは家事や子育て、仕事の能率低下にも繋がりが、時に周囲の誤解をも招きかねない。このようなことから、更年期の方々への支援とその症状についての正しい知	(1)本市の更年期に対する認識について (2)現状と支援策について	①厚労省などの資料によれば、女性の更年期は閉経前後約 5 年ずつの計約 10 年間で、一般的に 45～55 歳くらいが対象年齢であり、女性ホルモンの減少による様々な体の不調や情緒不安定などの症状によって生活に支障をきたす状態を更年期障害という。働き盛り世代の女性が更年期症状により、離職や仕事の能率低下、家事や子育てが困難になるなど健康課題として問題化しているが、本市では更年期障害についてどのような認識か伺う。 ②令和 7 年 4 月 1 日現在、更年期とされる 45～55 歳の本市の女性は女性人口 63,841 人中 9,348 人で約 15%である。また、更年期を迎える前の約 10 年の期間で更年期障害と同じような症状が現れる場合もあるプレ更年期といわれる方々を含めると合計 15,984 人となり、女性人口の約 25%を占める。この状況をふまえ、本市における女性の更年期に関する支援や啓発の必要性をどのように考えるか伺う。 ①国は令和 6 年度の「女性の健康総合センター」設立をはじめ、「健康日本 21(第三次)」では女性の健康に関する新たな項目を設定し、また、令和 7 年 6 月に改正された女性活躍推進法では令和 8 年 4 月から、生理や更年期症状など、女性の健康課題に向けた取り組みを盛り込むなどの支援に乗り出している。こうした中、国の動向と本市の方針はどう関連するか伺う。 ②他の病気の可能性がなく、更年期によるものと思われる症状に関する市民からの健康相談数の推移等の把握、また、市民や本市女性職員を対象とした、更年期に関する意識調査や支援に関するニーズ調査等を実施したことはあるか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

11 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
識と理解の促進に取り組むことを求め質問する。		③女性が抱える更年期症状については、本人そして周囲も正しい知識と理解を深める必要がある。そこで厚労省の定める毎年 3 月 1 日から 8 日までの「女性の健康週間」に、市の広報誌などで啓発に取り組むことや、また、更年期の症状・対処法などについて専門家による講演会等を実施してはと考えるが見解を伺う。 ④「更年期症状・障害に関する意識調査」(2022 年厚労省)によれば、40・50 代女性の半数以上が自身の不調が更年期によるものと考えたり、疑ったことがなく、約 8 割程度の方が医療機関を受診していない。つらい症状のほとんどは治療により改善するとされており、日常生活に支障のある方を早めの受診に繋げるためにも、更年期や婦人科に関する情報やセルフチェックリストなどを本市 HP に掲載し、継続的に必要な正しい情報にいつでもアクセスできる環境を整えることが必要と考えるが見解を伺う。 ⑤「更年期症状・障害に関する意識調査」(2022 年厚労省)によれば、「更年期に入る前に知りたかった情報」として主な更年期症状の内容や程度・対処法が多く、続いて受診目安があがっている。そこで対象となる年代の方に特定健康診査や子宮頸がん・乳がん検診案内時に更年期障害チェックリストの活用や婦人科での相談・受診の目安を案内してはと考えるが見解を伺う。 ⑥症状を抱えながら働く女性にとって職場の理解は欠かせないと思う。本市では職員に対し、女性の健康課題である更年期とその症状について学び理解する機会や管理職への研修などは行われているか。併せて、更年期による体調不良時の休暇や柔軟な働き方に関する整備はどのようなものか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS 明朝体、12 ポイントで記載する。

11 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 今後の支援策の充実について	⑦更年期障害に対する充実した支援を提供するため、医療関係者や各種関連団体、企業などと連携し、専門的かつ多角的な支援体制を構築すべきと考えるがどのような連携の形が考えられるか伺う。 ①女性特有の更年期障害は家庭や職場、地域において様々な影響を及ぼし、近年取り組むべき課題となってきた。本市では具体的支援策が少ないと思われるが、本市においても更年期障害を重要な課題として捉え、支援策を充実させる考えはあるか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。